

『日の丸』を胸に未来へ羽ばたけ

=全日本中学生サッカー選抜大会から=

昨年、兵庫県選抜が久々の全国優勝をした全日本選抜中学生大会が、第三回目を迎える。3月26日から30日まで東京三菱養和会東京グランドで開催された。

この大会は全国10地域のトレーニングセン

ターの対抗戦と日本協会が直接指導してきたセントラルトレーニングセンター2チームがオープン参加して行なわれ、兵庫からはチームとしては参加できなかったが、セントラルトレーニングセンターに新高1の井上教文(

どんな相手にも通用する選手になりたい

神戸FCジュニアA 溝畠 哲朗



溝畠 哲朗
（みぞはた てつろう）
小4年から神戸FCジュニアA主将
からサッカースタジアムで毎日練習。
昭和40年5月2日生まれ。2年生。

(力)

県代表5校とも 1回戦で敗る

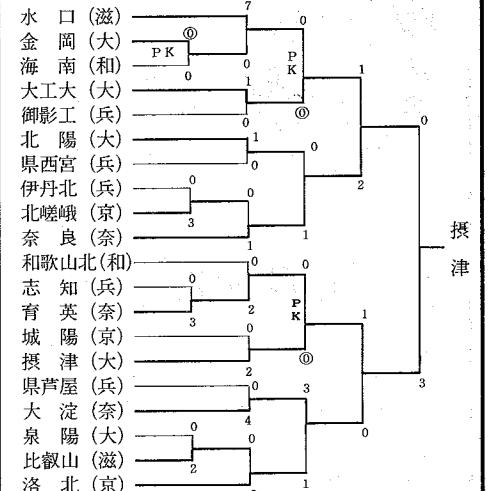
=近畿高校選手権大会=

第32回近畿高等学校サッカー選手権大会は府県予選を勝ち進んだ20校で争われたが、摂津高校(大阪代表)が奈良高校(奈良代表)を3-0で敗れた。

兵庫県からは、県高校三連覇の御影工業を初め県西宮、伊丹北、志知、県芦屋の5校が出場したが、いずれも1回戦で敗退という無残な結果になった。今後の努力を期待する。

試合結果は次の通り。

第32回近畿高等学校サッカー選手権大会



か。又、マスコミは選手又はチームを論評する役目をもっているのでしょうか。その場面だけでなくその試合全体の流れを観戦して評価してほしいですね。ないと素人のファンは

④ 画一性から脱皮して個性を出そう

前野 ぼくが中学で教わった先生にはショートパス戦法得意とする先生やキックアンドラッシュ戦法得意とする先生がおられました。今考えれば戦法に大きな違いがあったわけです。ですから指導者は個性のある指導を開拓し、画一性の打破を試みてもよいと思われます。

岡村 そうですよ、画一性から脱皮してもらいたい個性のある選手を育成して上等の既製品からオーダーメイドに移ってほしいですね。そのためにも、コーチも独創的な指導を考えるべきだと思います。

前野 学校のチームとか社会人チームには個性を伸ばせる指導がむずかしいのではないかでしょうか。毎年何試合も消化しなければならずその試合に勝つためのチームづくりが優先され選手の個性まで指導できないのが実情です。しかし、少年団等の少年サッカーは、小学校6年、5年とレベルを定めていて、そのレベルまで指導の必要はあると思います。あとは中学、高校の指導者が多少の味つけをしてサッカーのおもしろ味を知る選手に育成してくれるでしょう。

岡村 そうですね。スポーツの基本が一番伸びる中学・高校時代に2年間練習、1年間休みを2回も進学のため繰り返さなければならぬことが日本のスポーツ不振に影響しているのではないでしょうか。その点社会体育の発達しているヨーロッパでは、技術別のスポーツ組織があり技術の上手下手によって階級が異なって、上手になればいくらでも上級に進めることになっており、やる気と体力が

スタープレーヤーの一瞬をみて今日はよくやったとか彼は落選とか批判する。選手は可哀想ですよ。特に高校生のサッカーマンともなれば他の選手の動きを見て勉強してほしいです。

⑥ 基礎は小・中学生時代に身につけよう

岡村 コーチングスクールがあつて卒業した人たちが指導しているにもかかわらず基本をおろそかにしています。

前野 指導者に対して批判力がない間、つまり、小・中学生頃に正しいセオリーを教えていただきたいですね。

ケンペスがどうしたの、マラドーナがどうしたの情報が多すぎますね。

岡村 サイドキックでも正確にやれば30メートルも可能です。サイドキックのできる選手が少なくなりました。なんだかむずかしい変化球などをやたら使いたがるが基本のサイド、インステップができないのです。サッカーの原点を見直す必要があるのではないかでしょうか。

前野 サッカーのおもしろさは、いつまでたってもプレーできる限り基本を身につけておればとえ時間は短かになりますが若者にまじってプレーができるわけです。ボールをもらってウイングの後方へ蹴れば攻撃ができるのですから――。

⑦ 現代っ子選手は要求が多くすぎる

岡村 自主性がなくただ与えられた練習をやる選手の中で残ってまでボールを蹴るという選手の方がおかしいわけです。練習時以外は、ドッとなり替えて他の遊びにふけっています。

つまり、選手の生活の中にサッカーが食い込んでいないことになります。

前野 そのようなことを聞きますと学生時代

岡村さんに「足腰を強くするために電車中ではつま先で立っておれ」といわれたことを思い出します。今の社会人、学生は車で試合場へと非常にめぐまれすぎですね。

前野 今はみんな同じ練習をしており、これでは個性の發揮する場所がないわけです。

岡村 現在、前野さんの大学時代の先生のようないいへんおもしろいですが他のチームはもうひとつ魅力に乏しい。

前野 KFCにエチオピアからきた選手が一人いるのですがボールコントロールは抜群で日本の選手はまねをしようとするがなかなかうまくいきません。みんなうまくなりたいわけですね。

岡村 KRACという外人チームがありますが、みんな素人で国はばらばらですが外人特有の個性を発揮した楽しいゲームになっており、上手、下手は別にして、サッカーのセオリーをよく理解しているのには感心する。

前野 学生時代、練習ではものすごい上手なのに試合になると監督のプレッシャーが強く選手が委縮してしまい百パーセントの力を発揮できないチームや選手がいますがこれではいけないわけです。その場面、その試合、その時代に百パーセントの力を発揮できるよう指導しなければなりません。プレッシャーのかかった選手は、OBになったとたんに上手になりますね。今の指導者は選手に対する要求が多すぎるのはないでしょうか。

前野 ボールリフティングではないですが、今の選手は静的動作は100点満点、動は70点、対敵動作は20点、これではゲームになりません。

岡村 ぼくらのチームは対敵、対敵の繰り返しで、対敵動作ができるサッカーが一人前につきたいと思いますが、これはいけません。初心にかえって基本をしっかり身につけるようにになるのです。

⑤ ともに考えるサッカーをしよう

とだめです。

岡村 その通りで、正しいサッカーを小・中学生時代に教えてほしいですね。何でも感動しますし、すぐ自分のものにしたがる時代でしょう。より刺激が必要ですよ。

刺激ですが、日本リーグの読売、フジタ、ヤンマーは外人がいるため刺激があっていいんにおもしろいですが他のチームはもうひとつ魅力に乏しい。

前野 甲斐にエチオピアからきた選手が一人いるのですがボールコントロールは抜群で日本の選手はまねをしようとするがなかなかうまくいきません。みんなうまくなりたいわけですね。

岡村 KRACという外人チームがありますが、みんな素人で国はばらばらですが外人特有の個性を発揮した楽しいゲームになっており、上手、下手は別にして、サッカーのセオリーをよく理解しているのには感心する。

前野 学生時代、練習ではものすごい上手なのに試合になると監督のプレッシャーが強く選手が委縮してしまい百パーセントの力を発揮できないチームや選手がいますがこれではいけないわけです。その場面、その試合、

その時代に百パーセントの力を発揮できるよう指導しなければなりません。プレッシャーのかかった選手は、OBになったとたんに上手になりますね。今の指導者は選手に対する要求が多すぎるのはないでしょうか。

前野 ボールリフティングではないですが、今の選手は静的動作は100点満点、動は70点、対敵動作は20点、これではゲームになりません。

⑧ 静100点、動70点 対敵20点

前野 ぼくはサッカーの試合をして一番悪いのは負けることであると思います。今の選手はなにがなんでもゴールしたるんだといった強いたくましい気持を持ってプレーしている選手が少ないので、真剣さがたりませんね。全力でやっているのだからゴールした場合大きなゼスチャーで喜こんでよいのです。

選手はこれだけは誰にても負けないといったプレーをひとつ身につけて欲しいです。指導者も何かひとつを伸ばしてやってほしいですね。

岡村 社会人になってから基本を身につけることは無理なので学生時代にきっちりとやってもらいたいです。ボールリフティングなどはびっくりするほど上手になっていますが基本のインステップ、サイドキックなどもこれ

ぐらいうまくなってくれれば、サッカーのバリエーションがわかるのですが――。今のサッカー試合をみているとミスが多すぎます。

前野 ボールリフティングではないですが、今の選手は静的動作は100点満点、動は70点、対敵動作は20点、これではゲームになりません。

岡村 ぼくらのチームは対敵、対敵の繰り返しで、対敵動作ができるサッカーが一人前につきたいと思いますが、これはいけません。

⑨ サッカーに情熱をそして喜びを

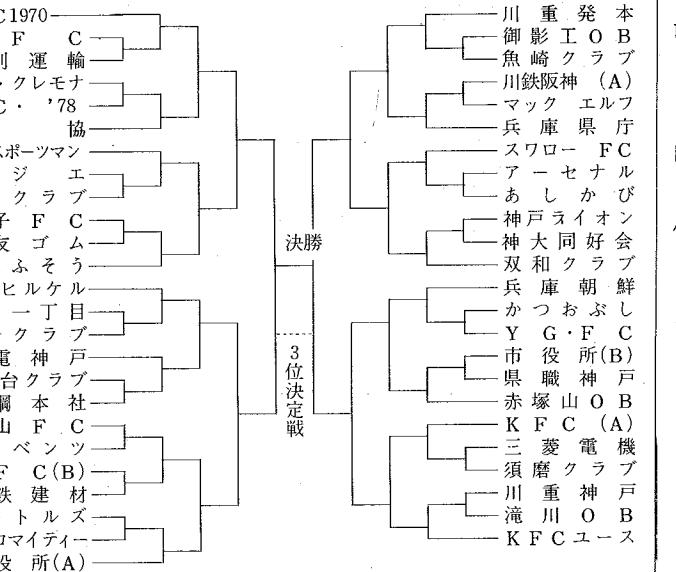
岡村 サッカーには歴史があります。子供たちにボールを与えておればサッカーになるのです。ボールを追ってダンゴになってどんどんたくましくなっていくのです。最初からボ

ジションを決めてやればサッカーにならないのです。つまりいきなり近代サッカーをやろうとするからおかしくなるのではないでしょうか。

昭和55年度の神戸市社会人チームの総戦を飾る神戸市民大会は3月13日抽選会が行なわれ、4月6日から開催される。市リーグ加盟の49チームが参加するが、リーグカップ優勝の兵庫朝鮮に他のチームがどれだけ食いつか見ものである。特にリーグカップでトスで敗れた六甲ヒルケル(前年度1部リーグ優勝)が市役所(A)を敗り、決勝で顔を合わせればリーグカップの雪辱を今大会で果たせるか興味のわくところである。

この大会は、社会人がスポーツマン精神にのっとり参加するものであるから、グランドマナーはもとより、審判に対する態度にも十分注意し、サッカーは、紳士のスポーツであるということを忘れないで大いに楽しんでもらいたいものである。組合せは、次の通り。

昭和55年神戸市民大会組合表



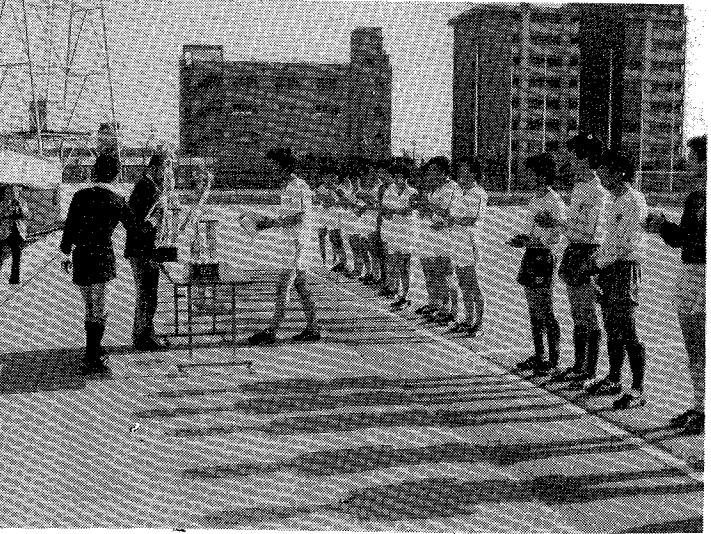
神戸中央球技場だより

- 4月20日(日)14時 日本リーグ ヤンマー 対 ヤマハ
4月23日(水)19時 日本リーグ ヤンマー 対 古河
5月11日(日)12時 関西社会人リーグ 大日日本電線 対 三菱重工神戸
湯浅電池 対 兵庫教員
5月14日(水)19時 日本リーグ ヤンマー 対 東洋
5月18日(日)14時 日本リーグ ヤンマー 対 新日鉄

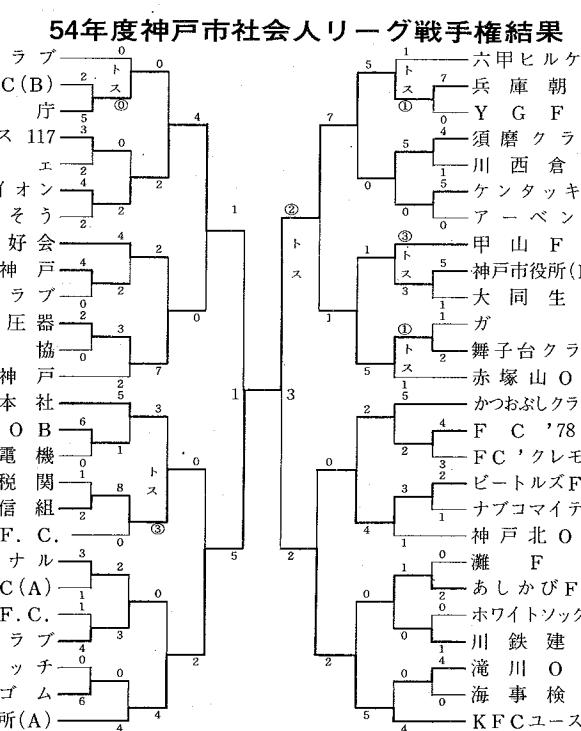
兵庫朝鮮強し、リーグカップをもぎとる

昭和54年度、神戸市社会人リーグの最後を飾るリーグカップは、1部、2部、3部から52チームが参加し熱戦を展開した。

決勝戦は、吉坂監督の神戸市役所Aチームと、何が何でも優勝だといふ兵庫朝鮮チームの間で争われた。キックオフ開始直後市役所は左ウイングから決定的なチャンスを3回つかんだが得点に成らず、兵庫朝鮮が1-0とリードして前半は終了した。後半、市役所はPKで1-1としたが、実力と応援に勝る兵庫朝鮮がじわじわと得点を重ね3-1で勝利した。3位決定戦ではKFCユースが神戸ライオンを2-0で降し。



= 市社会人リーグカップ =



前野 今も昔も同じなんですがぼくはうまくなつたという時期があったかどうかですね。だれでも自分がうまくなつた時期があるはずです。例えば一つのプレーができた時、今までの練習の実感がわきよりうまくなるステップにつながるわけです。「サッカーしてよかったな」という喜びが味わえるのです。この練習の喜びをうまく伸ばしてほししいですね。

岡村 今の選手は苦労が少ないです。喜びを得るために苦しんでほしいですね。ただなんとなく練習しているのでは意味がないのではないかでしょうか。やはり目的をもってプレーしてほしいです。

前野 サッカーをやる選手には、サッカーにのめり込んでほしいです。のめり込めば後悔はないです。ぼくなどこの年になつてやっているのですが素晴らしいですね。ボールを彼女として熱中してほしいです。

岡村 あれも、これもやつたでは人生の生きがいがないのではないかでしょうか。もっとサッカーにとことんのめり込んでほしいです。のめり込めばのめり込むほどサッカーのおもしろさが理解でき人生に希望がわいてくるのですが――。

前野 そうですね、今の若い選手はグラウンドに出てもサッカー以外のことよく話題にして話をしますね。グラウンドに出ればサッカーオンリーですよ。本当にサッカー一途にのめり込んでほしいです。

岡村 もっとサッカーの虫になつてほしいです。要するにサッカーを彼女と思って死ぬほど愛してもらいたいね。(おわり)